

歴史書

11

2014
No. 216



通信

韃靼の志士と乃木將軍／小松 久男

歴史書新刊ニュース〈9・10月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈9・10月〉

歴史書懇話会

韃靼の志士と乃木將軍

小松 久男

(東京外国語大学特任教授)

先日のこと、ウズベキスタンの畏友がとても興味深い史料を送ってくれた。それは、1912年2月29日付けで独立憲兵隊長ザズレフスキー大尉がトルキスタン地方保安部に送った秘密報告書のコピーである。19世紀半ば過ぎに今の中央アジア南部地域を征服したロシアは、1867年ここにトルキスタン総督府を開設し、膨大なムスリム（イスラーム教徒）人口を有する辺境の経営に着手した。ここでロシア当局が注視したのはイスラーム問題、すなわち現地ムスリム住民の政治・宗教的な気運、さらにアフガニスタンからインド、あるいはイランからオスマン帝国へと連なるイスラーム世界の動向がロシア領トルキスタンのムスリムにどのような影響を与えるかという問題であった。とりわけロシア当局が危惧したのは、汎イスラーム主義が浸透して辺境の秩序がゆらぐことであり、これを過剰なまでに警戒した保安部は、じつに多くの情報を蓄積していた。先の史料もこの一つである。

友人がこの史料を送ってくれたのは、そこかねてから私に関心をもっていた人物に関する面白い記述があったからである。その名はアブデュルレシト・イブラヒム（1857～

1944）という。この西シベリアに生まれたタタール人は、ロシア領内におよそ2000万を数えたムスリム諸民族の覚醒と自立をめざして奔走したジャーナリスト・政治活動家であり、ヴォルガ中流域のカザンからシベリア、満州、日本、朝鮮、中国、シンガポール、インド、アラビア半島そしてイスタンブールへとユーラシアを広く巡って「イスラームの統一」を訴えた希有の旅行家でもあった。彼のオスマン語の旅行記『イスラーム世界——日本におけるイスラームの普及』（イスタンブール、1910年）は、明治末期の日本と日本人の姿をムスリム読者に伝えることになった。

さて、この史料には次のような記述がみえる。

アブデュルレシト・イブラヒム・エフェンディについて明らかにできたのは、彼はブハラ出身で、きわめて教養があって進歩と啓蒙の支持者であり、国際法にも通じているということである。イスラームは日々衰え、ムスリム君主たちは自分の臣民を顧みず、諸国民の法も知らず、虚栄と自惚れに没頭してひたすら自己満足を追い求めるかと思えば、か



イブラヒムの肖像（『イスラーム世界』の扉より）

たや教養あるべきイスラーム法裁判官や法学者は強請にふけり、学を求めべきマドラサ[高等学院]の人々も正しい道からはずれて知識にうとく、手探りで歩むばかり。このような有様を見たアブデュルレシト・イブラヒム・エフェンディは、粗末なデルヴィシユ[托鉢僧]の姿に身をやつして故郷のブハラを去り、同志を求めて世界の遍歴に旅立ったのである。

「ブハラの出身」には説明が必要だろう。彼の祖先はたしかにブハラ人だったというが、彼自身は西シベリアの生まれである。しかし、興味深いのは、この記述はイブラヒムの問題意識をほぼ正確に表現していることである。イスラーム世界の衰退と無知の蔓延は、彼がことあるごとに指摘した問題にはかならない。加えて、この憲兵大尉はイブラヒムを「教

養があって進歩と啓蒙の支持者」と評価しているかにみえるが、じつはこのころイブラヒムはロシア本土では本人不在のまま、刑事犯として訴追されていた。たとえば、彼は1907年に首都のサンクトペテルブルクで刊行した著作の中で、ロシアとオスマン帝国とが戦うたびに、ロシア軍中のタタール人兵士は同胞のトルコ人兵士に刀を振るわねばならないことの理不尽さを訴えていた。このような発言は、ロシア官憲も看過するわけにはいかなかったからである。

報告文はさらにこう述べる。

これらの人々はイスラームを発展させる事業で連帯し、宣教師のように秘密の会議を開き、課題を実現するために各地を巡っている。もっとも傑出した活動家は14名を数え、その首領はアフガン人といわれるジャマルッディンである。彼は長くイランに住んで憲法を解説した著作をもつし、人民を政府に対して蜂起させた。[中略]首領の指示を受けたホージャ・レザー・ケルマーニーは、イスタンブルからイランの首都に赴いて国王ナーセルッディーン・シャーを暗殺した。[中略]これらはすべて活動家たちの練り上げた計画に基づいて実行されたものである。彼らの名前は祖国に殉じた者として書物に記されている。アブデュルレシト・イブラヒム・エフェンディはこの系譜に属しており、ブハラからトルコに向かい、そこからインドにわたった。日露戦争の時、彼は日本に旅しており、そこに2～3年滞在して軍事的

な行動計画を調べ、それからアフガニスタンを経てふたたびトルコに旅した。現在、彼はトルコとイタリア間の戦争の動向を見守るために「リビアの」トリポリに赴いている。

ここで興味深いのは、まざイブラヒムを汎イスラーム主義の思想家として名高いジャマルッディン・アフガーニー（1838～97）に始まる革命家の系譜に位置づけていることである。たしかにイブラヒムは1889年ロシア訪問中のアフガーニーとサンクトペテルブルクで会っており、この先達を敬愛していたことは大いにありえることである。また、この時期イブラヒムがオスマン領リビアに赴き、トルコ・イタリア戦争の前線でオスマン軍兵士を鼓舞していたことも事実であり、この報告には一面の信頼性が認められる。

しかし、日本に関する情報はどうか。日露戦争当時、イブラヒムはロシア国内でロシア・ムスリム大会や雑誌刊行の準備にあたってはたらずであり、彼自身の言や日本側資料による限り、彼がユーラシア大旅行の間に日本（横浜・東京）に滞在したのは戦後の1909年2月から6月のことである。もっとも彼が日本滞在中にイスラーム世界を列強の支配から解放するために新しい強国日本との連携を画策し、陸軍軍人やアジア主義者と語らったのは事実である。こうした接触の一端は、当時の参謀本部第二部長宇都宮太郎少将の日記にもうかがうことができる。ちなみに1910年3月14日の日記には

「余の胸中にては、イブラヒムの人物素性も不明なれども、果して出来そ一ならば、ファードリー等と共に他日回教徒操縦の道具に利用し、耶蘇教国と対抗の或る場合には利用し得る如く為し置かんと考なり」とある（宇都宮太郎関係資料研究会編『日本陸軍とアジア政策——陸軍大將宇都宮太郎日記』第1巻、岩波書店、2007年、321頁）。

日本では「韃靼の志士」ともよばれたイブラヒムの明治日本探訪記は、ユニークな旅行記といえるが、昨年その日本語訳を見直していて気づいたことがある。彼は日露戦争で勇名をはせた大山巖元帥に1節をあて、写真も付して礼賛しているのだが、これは著者の記憶違いと思われる。じっさい、彼は滞在中にロシアに書き送った記事の中で、あるとき市電に乗ってきた乃木將軍が誰にも席を譲られることもなく立っている姿を見て、日本社会の身分によるわけへだてのなさに驚いたことを記している。そして後に再来日したときの回想では「一日大山元帥に学習院でお目にかかった事があるが、学習院の食堂で極めて質素にして謙遜深きご接待に預り、之が日露戦争の総司令官とは思えぬ慎ましきであった」と述べている（『日本及日本人』290号、1934年、30頁）。イブラヒムは、昭和に対して明治人の気風を評価しているのだが、彼のいう、学校に起居して生徒と一緒に体操をしている將軍とは、学習院の乃木院長と考えてまちがいないだろう。

晩年を東京で過ごし、大日本帝国

のイスラーム政策にも関与したイブラヒムは、多磨墓地に眠っている。彼の思想や活動は長く忘れられていたが、彼の郷土ではソ連が解体し、トルコではイスラーム政党が政権をとり、日本でも戦前のイスラーム政策に光が当てられるようになると、あらためて関心を集めるようになった。2012年にはトルコのコンヤ、今年（2014年）は東京でイブラヒムとその時代に関する国際シンポジウムが開催され、来年はロシア連邦タタルスタン共和国の首都カザンでの開催が予定

されている。かつてロシアとオスマン帝国、そして日本を含む広大な歴史空間を生きたイブラヒムの足跡をたどっていくと、目はおのずと世界史に開かれていくかのようなようである。

（表紙写真）「日本滞在中のアブデュルレシト・イブラヒム」『イスラーム世界』の原書では「伊藤公爵の幹部秘書たち」とある。前列向かって左端の人物は内田良平と思われる。
出典：『イスラーム世界』イスタンブル、1910年

新刊ニュース

9・10月発行図書 *発売は予定のものもあります

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

考古学とポピュラー・カルチャー

櫻井準也著

A 5判 160頁 1,800円 同成社〔9月刊〕

コミックや映画などの大衆文化にみる考古学者像を分析し、そのイメージ変化などを考察しながら、現代社会と考古学との関係性を探る。 978-4-88621-678-6

遺跡保護行政とその担い手

須田英一著

A 5判 472頁 12,000円 同成社〔10月刊〕

近現代において遺跡保護を担った人々の軌跡を、地域社会や文化財政策の歴史と絡めて丹念に辿り、遺跡保護の有り様について考察する。 978-4-88621-676-2

実験パブリックアーケオロジー

—遺跡発掘と地域社会—

松田 陽著

A 5判 328頁 8,000円 同成社〔10月刊〕

住民や地域社会が遺跡や発掘調査をどのように受けとめるか、詳細に調査・考察し、現代社会で考古学が何をすべきかを提案する。 978-4-88621-675-5

景観考古学の方法と実践

寺村裕史著

A 5判 240頁 4,000円 同成社〔10月刊〕

景観研究に GIS を活用する方法を総合的に解説し、古墳・遺跡を対象にした研究事例を豊富に紹介。景観考古学に新しい地平を拓く。 978-4-88621-679-3

北関東の横穴式石室

市橋一郎著

B 5判 240頁 9,000円 同成社〔10月刊〕

横穴式石室の構造や出土遺物等を精細に分析し、関東におけるその受容と展開の様相から古墳時代後期の畿内と東国の関係を追究する。 978-4-88621-670-0

韓国古代木簡の研究

橋本 繁著

A 5判 288頁 9,000円 吉川弘文館〔10月刊〕

新史料として注目される、朝鮮半島各地で出土した木簡について、日本との共通点や相違点を検討し、新たな古代朝鮮史像を解き明かす。 978-4-642-08152-8

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

古代日本の勝者と敗者

敗者の日本史 4

荒木敏夫著

四六判 244頁 2,600円 吉川弘文館〔9月刊〕

藤原氏との政治抗争に負け、歴史の表舞台から去った大伴氏は本当に姿を消したのか？ 単純な敗者ではない大伴氏の未知の真実に迫る。 978-4-642-06450-7

西の軍隊と軍港都市

地域のなかの軍隊 5 中国・四国

坂根嘉弘編

四六判 232頁 2,800円 吉川弘文館〔10月刊〕

日清戦争時に大本営が広島に置かれるなど、近代軍事の要を果たした中国・四国。軍隊誘致運動に伴う都市形成と諸産業の発達に迫る。 978-4-642-06477-4

紫式部と平安の都

人のあるく

倉本一宏著

A 5判 150頁 2,000円

吉川弘文館〔9月刊〕

学者のむすめから中宮彰子への出仕に至った生涯を追ひ、『源氏物語』執筆の謎に迫る。平安京などを訪ね、物語の舞台に想いを馳せる。
978—4—642—06786—7

やさしい信仰史—神と仏の古典文学

佐々木和歌子著

四六判 280頁 1,600円

山川出版社〔9月刊〕

人が神仏にすがりたいと思う気持ちは、今も昔も変わらない。人々の信仰の形を古典文学から読み取り、この国に根付く緩やかな信仰の歴史を紐解く。
978—4—634—15067—6

法制史料集

陽明叢書 記録文書篇 第九輯

陽明文庫編／杉橋隆夫・佐古愛己解説

A 5判 384頁 12,000円

思文閣出版〔9月刊〕

陽明文庫所蔵の中世の法制関係史料「法曹至要抄」「裁判至要抄」「文永十年九月制符」「追加」「式目追加条々」「倭朝論鈔」を写真版で収録。
978—4—7842—1716—8

東寺百合文書 第十一巻

チ函三

京都府立総合資料館編

A 5判 450頁 9,500円

思文閣出版〔10月刊〕

東寺に襲蔵されてきた、日本最大の古文書群。「ひらかなの部」翻刻の『大日本古文書』未収録の「カタカナの部」を翻刻。十巻刊行から2年ぶりの第十一巻。
978—4—7842—1759—5

姓氏・家紋・花押

読みなおす日本史

荻野三七彦著

四六判 280頁 2,400円

吉川弘文館〔9月刊〕

自筆を証明する花押。武士の旗印や家を誇る家紋。史実から探る姓氏・系図。これらを踏まえ、古文書読解の要点が学べる格好の入門書！
978—4—642—06581—8

古代に真実を求めて 古田史学論集第十七集

古田史学の会編著

A 5判 292頁 2,800円

明石書店〔8月刊〕

米寿を迎えた古田武彦氏が史料批判の方法や近年の問題関心を語る講演録「『邪馬壹国』の本質と史料批判」「歴史の中の再認識」と、古田氏が展開した論理から『魏志倭人伝』を分析・論証した「邪馬壹国の所在と魏使の行程」「奴国はどこに」などの論文を収録。
978—4—7503—4051—7

新羅神と日本古代史

出羽弘明著

四六判 200頁 1,900円

同成社〔10月刊〕

日本の各地に多く存在する新羅の神を祀る神社を調べ、古代の朝鮮半島の新羅国との関連や日本の古代史の中での位置づけを精微に探る。
978—4—88621—676—2

古田武彦が語る多元史観

燎原の火が塗り替える日本史

古田武彦著 古田武彦と古代史を研究する会・多元的古代研究会編

四六判 540頁 4,000円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

古田武彦は、自らの研究成果をどう捉えているのか。十年にわたる講演をもとに、その膨大な研究のエッセンスを凝縮。また最新の問題関心までを語り尽くす。
978—4—623—06934—7

古代政治史における天皇制の論理 (増訂版)

河内祥輔著

四六判 328頁 3,000円

吉川弘文館〔9月刊〕

古代政治史上の諸事件に独自の解釈を加え、新たな全体像を提起する。旧版刊行後の研究成果を盛り込み、全面的に増補改稿する。
978—4—642—08260—0

古事記と太安万侶

和田 萃編

四六判 280頁 2,300円

吉川弘文館〔10月刊〕

日本現存最古の歴史書、文学書『古事記』の編纂に携わった太安万侶。ゆかりの多氏や多神社との関わりなどを取り上げ、実像に迫る。
978—4—642—08261—7

日本古代の武具

『国家珍宝帳』と正倉院の器仗

近藤好和著

A 5判 480頁 8,500円

思文閣出版〔9月刊〕

正倉院に伝わる武具と、光明皇太后が東大寺大仏に献納した物品の目録『国家珍宝帳』。それぞれに記載の武具を詳細に解説。古代武具を考える上での基本図書。
978—4—7842—1766—3

古代日本と中国文化 受容と選択

水口幹記著

A 5判 448頁 12,500円

塙書房〔10月刊〕

①「祥瑞・呪符・占術」と②「時間・音・感性」の二部構成。歴史学研究・文学研究の手法を用いて、日本の古代を中心とした中国文化の受容や選択の問題を解明。

978-4-8273-1269-0

孝謙・称徳天皇

出家しても政を行ふに豈障らず

勝浦令子著

四六判 380頁 3,500円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

崇仏を貫いた古代最後の女帝。出家、重祚、道鏡重用の真意とは一。「王権と仏教」「女性と仏教」という視点から、その実像に迫る。

978-4-623-07181-4

地方官人たちの古代史

律令国家を支えた人びと 歴史文化ライブラリー386

中村順昭著

四六判 208頁 1,700円 吉川弘文館〔9月刊〕

村の生活を指示した木簡や、墾田開発・庄園経営などを伝える古文書から、古代の「お役人」の仕事を紹介し、その活躍を描き出す。

978-4-642-05786-8

古琉球期首里王府の研究

歴史科学叢書

矢野美沙子著

A 5判 298頁 8,000円

校倉書房〔10月刊〕

王統交代期の首里王府の枠組みの変化、それによる対明関係をはじめとする対外関係の変容、古琉球期地方社会のあり方、源為朝渡来伝説の発生などを論考。

978-4-7517-4560-1

大航海時代の日本と金属交易

別府大学文化財研究所企画シリーズ③「ヒトとモノと環境が語る」

平尾良光・飯沼賢司・村井章介編

B 5判 220頁 3,500円 思文閣出版〔9月刊〕

大航海時代の日本と東アジア世界において、鉛などの金属材料がどのように流通・交易されていたかを科学分析や文献史学など多方面から複眼的に解明。978-4-7842-1768-7

日本中世の地域社会と仏教

湯之上隆著

A 5判 370頁 8,000円

思文閣出版〔10月刊〕

前著『日本中世の政治権力と仏教』（小社刊・品切）に続き、宗教の社会的機能を検討。写経や法会などにみられる宗教行為がもつ社会性を具体的に考察。978-4-7842-1773-1

豊臣秀頼

歴史文化ライブラリー387

福田千鶴著

四六判 224頁 1,700円

吉川弘文館〔9月刊〕

没後400年、徳川中心史観を払拭し、新たな秀頼像を描き出す。秀吉の後継者としての政治家・天下人への道筋を探る。

978-4-642-05787-5

描かれた倭寇

「倭寇図巻」と「抗倭図巻」

東京大学史料編纂所編

B 5判 112頁 2,500円

吉川弘文館〔10月刊〕

有名な「倭寇図巻」に加え、中国で新発見された「抗倭図巻」を全頁カラーで本邦初公開。日中共同による倭寇図像研究の最先端へ誘う。978-4-642-08253-2

名前と権力の中世史

室町將軍の朝廷戦略 歴史文化ライブラリー388

水野智之著

四六判 200頁 1,700円

吉川弘文館〔10月刊〕

室町將軍は、公家衆に名前の一部を授けたり擬制の親子関係を結ぶことで、朝廷との主従関係をいかにつくりあげようとしたのか。

978-4-642-05788-2

安芸毛利一族

読みなおす日本史

河合正治著

四六判 284頁 2,400円

吉川弘文館〔10月刊〕

尼子・大内を滅ぼし、戦国の中国地方に覇を唱えた毛利氏。その姓を初めて名乗った鎌倉期から、関ヶ原合戦にいたる一族の歴史を辿る。978-4-642-06582-5

中近世の蝦夷地と北方交易

アイヌ文化と内国化

関根達人著

B 5判 416頁 15,000円

吉川弘文館〔10月刊〕

蝦夷地へ和人はいつどのような形で進出したか、アイヌと和人両者に光を当て、考古学と文献史学から「蝦夷地史」を新たに提唱する。

978-4-642-09339-2

江戸語辞典 新装普及版

大久保忠国・木下和子編

B 6判 1,264頁 5,500円 東京堂出版〔9月刊〕

日常語を中心に名物、地名、有名店から祭祀、慶弔、飲食、遊郭など、当時使われていたことば・関連語を13000語収録。

978-4-490-10851-4

江戸時代の医師修業

学問・学統・遊学 歴史文化ライブラリー-389

海原 亮著

四六判 256頁 1,800円 吉川弘文館〔10月刊〕

医師免許がなかった江戸時代。必要な「学問」をどう習得したか。当時の医界を支えた「学統」など、就学プロセスを素材に実態を描く。

978-4-642-05789-9

江戸の開府と土木技術

江戸遺跡研究会編

A 5判 284頁 6,500円 吉川弘文館〔10月刊〕

徳川家康が入国したころの江戸は、どのような姿をしていたのか。いまだ不明点が多いその様相を、地形環境や遺構群を素材に描く。

978-4-642-03466-1

児玉源太郎

日本史リブレット人89

大澤博明著

A 5変型判 104頁 800円 山川出版社〔9月刊〕

明治期の陸軍参謀、台湾の統治者、日露戦争の指導者として、各段階で軍事と政治に通じる力を発揮した彼の指導力に着目し生涯を追う。

978-4-634-54889-3

池上彰の現代史授業—21世紀を生きる若い人たちへ

昭和編②昭和三十年代 もはや戦後ではない！

池上 彰監修・著／こどもくらぶ編

A B判 48頁 1,600円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

経済白書が「もはや戦後ではない」と宣言した時代。日本の国連加盟、新安条約調印、東京オリンピック開催などから池上氏が時代をわかりやすく解説。978-4-623-07164-7

〈報道写真〉と戦争

1930—1960

白山真理著

四六判 518頁 4,800円 吉川弘文館〔9月刊〕

日本の報道写真はいかに生まれ、戦争と関わったのか。知られざる報道写真家たちの実像を、原爆をめぐる戦後の活動などから読み解く。

978-4-642-03834-8

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

個人の語りがひらく歴史

ナラティブ／エゴ・ドキュメント／シティズンシップ

横原 茂編著

A 5判 292頁 6,000円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

史料に残されたナラティブから歴史を問うことを通しておよそ1世紀前に生きた人々のシティズンシップを描き出すことをめざす。

978-4-623-07134-0

ある華僑の戦後日中関係史—日中交流のはざまに生きた韓慶愈

大類善啓著

四六判 248頁 2,300円 明石書店〔8月刊〕

韓慶愈は在日華僑のなかでも個性的な生き方をしていることで知られる。1953年に祖国中国へ帰国するはずだったが、周恩来の片腕だった廖承志から日本に帰って華僑向けの新聞を出すべきだと進言されたため、日本に残り、華僑向けの新聞を発行。また日中友好のために、日本人たちに協力しながら日本人とは違った形で活動した。その韓の生きざまを明らかにする。978-4-7503-4056-2

マンチュリア史研究

「満洲」600年の社会変容

塚瀬 進著

A 5判 320頁 11,000円 吉川弘文館〔10月刊〕

明代から中華人民共和国の成立までの600年間、いかなる要因でマンチュリア社会は変容していったのか。周辺諸国との関連から描き出す。

978-4-642-03837-9

現代韓国を知るための60章【第2版】

石坂浩一編著

四六判 390頁 2,000円 明石書店〔9月刊〕

大きく動き変わろうとする東アジア、なかでも昨今緊張する日韓関係。そもそも韓国とは何か、その国土から、成り立ちの歴史、経済の変遷を説き、社会問題や文化事象に触れ、今の韓国を理解する手引きとなる1冊。978-4-7503-4082-1

朝鮮後期ソウル商業発達史研究

高東煥著・宮嶋博史訳

A 5 判 520頁 予価8,500円 東京堂出版〔10月刊〕

人口増加と都市空間の拡大、交通網の発達等を背景として、漢江沿岸の京江商人の実態に触れつつ商業発達の実相を多角的に分析。

978-4-490-20878-8

パキスタン現代政治史—民主国家への苦難の道

中野勝一著

四六判 448頁 4,800円 明石書店〔8月刊〕

1947年に英領インドから独立して以来、パキスタンは民主化を目指し苦難の道を歩んできた。なぜなかなか民主主義が根付かないのか。日本総領事として現地の政府関係者たちと関わった著者自身の経験も踏まえ、複雑な現代政治の流れをわかりやすく解説する。978-4-7503-4058-6

イスラーム・シンボル辞典

マレク・シェベル著

A 5 判 496頁 9,200円 明石書店〔9月刊〕

『コーラン』やムハンマドの言行録『ハディース』そしてイスラーム教徒の日常生活の中に見られる様々な象徴(シンボル)を語句ごとに解説した辞典。イスラーム文化全体に張り巡らされた象徴の体系を、簡潔かつ深く読み解く、フランスのイスラーム学の知の結晶。978-4-7503-4005-0

現代モンゴルを知るための50章

小長谷有紀編著

四六判 390頁 2,000円 明石書店〔9月刊〕

中国、ロシアの2大国に挟まれ、海への出口のない内陸国・モンゴル。地政学上、国際的に重要な位置にあるこの国は、多くの日本人が抱く「大草原、遊牧、相撲…」などのステレオタイプのイメージにはとどまらない。その魅力を余すところなく伝える。978-4-7503-4043-2

社会運動のらびと—転換期パリに生きる

相良匡俊著

A 5 判 264頁 5,500円 山川出版社〔9月刊〕

19世紀末—20世紀初頭のフランスを舞台に、歴史を生きたらびとに密着したアプローチを模索する研究の軌跡。

978-4-634-64071-9

ノルウェーを知るための60章

大島美穂、岡本健志編著

四六判 392頁 2,000円 明石書店〔8月刊〕

スカンティナヴィア半島西岸のノルウェー王国。他の北歐諸国と同様に高負担高福祉、さらに男女平等が最も進んだ国としても知られている。フィヨルドやオーロラなど雄大な自然をはじめ、歴史、経済、文化にわたる様々な分野で、その知られざる魅力を紹介する。978-4-7503-4047-0

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

古寺名刹見どころ事典

みわ 明著

A 5 判 480頁 5,200円 東京堂出版〔9月刊〕

寺院ごとの住所や宗派・山号から、寺への交通や歴史、特色ある年中行事や寺院を拝観するみどころまで600ヶ寺を収録。

978-4-490-10853-8

日韓歴史認識問題とは何か

歴史教科書・「慰安婦」・ポピュリズム

木村 幹著

四六判 296頁 2,800円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

日韓の政治過程を丹念に辿り、両国のナショナリズムが高まる中で日韓両国のエリート統治が機能不全に陥り、「期待」と「失望」を繰り返してしまいう構造を解明。

978-4-623-07175-3

西欧世界の勃興 新装版

新しい経済史の試み

D・C・ノース／R・P・トマス著 速水 融・穂本洋哉訳

A 5 判 276頁 4,500円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

新古典派の経済理論と経済史分析を統合し、効率的経済組織の発展が、人類史上画期的な西欧の勃興の原動力であることを示した名著を装い新たに刊行。978-4-623-07171-5

全訳 論語

山田史生著

四六判 608頁 1,800円 東京堂出版〔10月刊〕

気軽に、ストレートに心に届く新しい訳と解説で、すらすら読めて楽しめる。楽しくて、ためになる、等身大『論語』。

978-4-490-20880-1

中世出雲と国家的支配

権門体制国家の地域支配構造
佐伯徳哉著

A 5判 360頁 9,500円

法蔵館〔9月刊〕

出雲における中世的支配体制と地域の形成を素材に、権門体制国家が諸地域との緊張・軋轢を伴いながら、その国家的機能をいかに浸透させ、支配しようとしたかを文化論的視覚から考察する。 978-4-8318-6026-2

阿闍世のすべて

悪人成仏の思想史
永原智行著

A 5判 336頁 3,000円

法蔵館〔9月刊〕

親殺しの極悪人とされる阿闍世。阿闍世が登場する様々な仏教文献を博搜し、その苦悩と救済を突き詰め、また、親鸞が確立するまでの悪人成仏の思想を考察する書。

978-4-8318-8730-6

アジアの灌頂儀礼

その成立と伝播
森 雅秀編

A 5判 332頁 4,000円

法蔵館〔9月刊〕

アジア各地の灌頂儀礼を取り上げ、その成立、実態、変容過程、灌頂と国家との関係、文化的意味を考察する。アジアの宗教儀礼の中枢をなす「灌頂」に、学問領域を超えて取り組んだ成果。

978-4-8318-7449-8

奈良時代の官人社会と仏教

日本仏教史研究叢書
大畑 啓著

四六判 250頁 3,000円

法蔵館〔9月刊〕

国家的な写経事業にかかわった写経所官人。彼らは仏教が国家から在地社会へ伝わる上での媒介者でもあった。正倉院文書から仏教受容の過程を鮮やかに蘇らせた1冊。

978-4-8318-6042-2

大系真宗史料 文書記録編 3

戦国教団

真宗史料刊行会編／担当 神田千里

A 5判 320頁 8,500円

法蔵館〔10月刊〕

I 本願寺教団史料、II 在地寺院史料、III 高田教団史料の三部構成で、本願寺派だけではなく、高田派など真宗諸派等を等しく視野に入れた戦国期真宗を解明するための手がかりとなる史料を収録する。 978-4-8318-5062-1

大系真宗史料 文書記録編 5

戦国記録編年

真宗史料刊行会編／担当 木越祐馨

A 5判 350頁 8,500円

法蔵館〔10月刊〕

永享七年(1435)正月から永禄十三年(1570)九月までの百三十五年間の真宗関係史料を、古記録、軍記、覚書、編纂物等を、主に刊本を中心に蒐集し、編年体で集成。

978-4-8318-5064-5

識字と学びの社会史

日本におけるリテラシーの諸相
大戸安弘・八嶽友広編

A 5判 370頁 7,000円

思文閣出版〔9月刊〕

近代学校制度が導入される以前の日本における識字と学びの歴史的な展開について、様々な史料から多面的に掘り起こし、実証的な検討を加えた論文集。 978-4-7842-1772-4

菅原道真論

滝川幸司著

A 5判 756頁 22,000円

塙書房〔10月刊〕

菅原道真自身の主張だけでなく、撰家や詩友=ヨコの関係、さらに祖父清公や父是善=タテの関係からも道真を捉え相対化し、道真の特異性を明確にする。

978-4-8273-0121-2

日本文学史

小峯和明編

四六判 420頁 3,800円

吉川弘文館〔10月刊〕

いままでなかった！ テーマで論じる最新の日本文学史。東アジア・メディア・戦争・宗教・男女と家族・環境を切り口にやさしく描く。 978-4-642-08262-4

園城寺の仏像 第1巻 智証大師篇

天台寺門宗教文化資料集成 仏教美術・文化財編1
園城寺監修／園城寺の仏像編纂委員会編

A 4判 140頁 12,000円

思文閣出版〔10月刊〕

園城寺および縁の寺の仏像を秘伝も含め、網羅的に収録するシリーズ。本巻は、園城寺の智証大師像三軀と、京都府下と生誕地香川県の大師像について、多数のカットを掲載。

978-4-7842-1765-6

小堀鞆音

歴史画は故実に抛るべし
小堀桂一郎著

四六判 452頁 4,200円

ミネルヴァ書房〔9月刊〕

日本美術史の中で有職故実に基づいた歴史画の祖となった小堀鞆音の画業と人柄に嫡子系の比較文化史家が迫る。

978-4-623-06392-5

知って役立つ民俗学

現代社会への40の扉
福田アジオ責任編集

A 5判 304頁 2,800円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

「縁側って何?」「なぜお守りをもつのか?」
といった日常の素朴な疑問から、親の介護や
差別など現代の社会問題まで、40の扉から民
俗の世界を探る入門書。

978-4-623-07126-5

老舗の伝統と〈近代〉

家業経営のエスノグラフィー
塚原伸治著

A 5判 296頁 10,000円 吉川弘文館〔9月刊〕

「伝統」と切り離せない老舗の経営。佐原・近
江八幡・柳川での現地調査を素材に、経営実
践を追究。老舗の伝統をめぐる現在に迫る。

978-4-642-08197-9

日中演劇交流の諸相

中国近代演劇の成立
陳 凌虹著

A 5判 418頁 8,000円 思文閣出版〔9月刊〕

中国近代演劇の成立に果たした日本の役割に
ついて、文明戯（中国）と新派（日本）の関
係を中心に、新史料と人物の往来、脚本の翻
訳等を通して論じる。

978-4-7842-1722-9

伝 記

最後の蘭学者・緒方郁蔵

古西義麿著

A 5判 180頁 2,500円 思文閣出版〔10月刊〕

緒方洪庵の陰で適塾を支え、義兄弟の契りを
結び、緒方姓を名乗った緒方郁蔵。すぐれた
蘭方医であったその生涯を生誕二百周年を記
念してまとめた一書。

978-4-7842-1774-8

地 理

歴史の旅 中世の高野山を歩く

山陰加春夫著

A 5判 212頁 2,600円 吉川弘文館〔10月刊〕

真言密教の道場、入定信仰の霊場…。空海開
創以来の信仰と文化を、中世を中心に豊富な
写真と地図を交えて辿り、その魅力に迫る。

978-4-642-08259-4

雑 誌

日本歴史 10月号（第797） = 9月刊
11月号（第798） = 10月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみ
やすい歴史知識の普及誌として、研究者から
一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い23,500円〔税・送料込〕

A 5判 130頁 各741円 吉川弘文館〔9・10月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔税・送料込〕

※表示価格は、すべて本体価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2014. 9・10

――明石書店――

- 社会を変えるリーダーになる 「超・利己主義」的社會参加のすすめ 田中尚輝著
 ……………四六判 1,800円 8月
- 誰が星の王子さまを殺したのか モラル・ハラスメントの罠 安富 歩著 ……四六判 2,000円 8月
- 食卓の不都合な真実 健康と環境を破壊する遺伝子組み換え作物・農薬と巨大バイオ企業の闇
 ジル＝エリック・セラリニ著 ……………四六判 2,400円 8月

――思文閣出版――

- 三河 風外本高墨蹟集 虚心坦懐 小原智司著 ……………A 4判 3,000円 9月
- 日本文学とその周辺 龍谷大学仏教文化研究叢書33 大取一馬編 ……………A 5判 8,400円 9月

――法 藏 館――

- 暮らしに役立つ真宗カウンセリング術 譲 西賢著 ……………四六判 1,080円 9月
- 親鸞の阿闍世観 三明智彰著 ……………A 5判 1,512円 9月

――ミネルヴァ書房――

- 比較政治学 粕谷祐子著 ……………A 5判 2,800円 9月
- アジア経営論 陳 晋著 ……………A 5判 2,800円 9月
- 環境政策論 森 晶寿・孫 穎・竹歳一紀・在間敬子著 ……………A 5判 3,000円 9月
- 現代スポーツは嘉納治五郎から何を学ぶのか 公益財団法人日本体育協会監修／菊 幸一編著
 ……………A 5判 2,800円 9月
- 現代アフリカ経済論 北川勝彦・高橋基樹編著 ……………A 5判 3,500円 10月
- ケルケゴールの信仰と哲学 鈴木祐丞著 ……………A 5判 7,000円 10月
- 再魔術化する都市の社会学 園部雅久著 ……………A 5判 5,500円 10月
- 現代ドイツ政治 西田 慎・近藤正基編著 ……………A 5判 3,000円 10月
- マーシャル クールヘッド&ウォームハート アルフレッド・マーシャル著／伊藤宣広訳
 ……………A 5判 3,500円 10月
- 政治はどこまで社会保障を変えられるのか 山井和則著 ……………A 5判 1,800円 10月

※表示価格は、すべて本体価格です。

歴懇ニュース

この10月は大型の台風18号・19号が2週間続けて日本列島を襲いました。大雨・洪水・暴風…大きな被害のあった地域の皆様、心からお見舞い申し上げます。

◆月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の9書店で開催しております。お近くの読者の皆様、折々に変わる歴史書の棚をお楽しみください。

◇天童市 TENDO 八文字屋 (2006年7月～) / ◇新潟市紀伊國屋書店新潟店 (2007年8月～) / ◇松江市今井書店グループセンター店 (2008年6月～) / ◇新宿区芳林堂書店高田馬場店 (2010年4月～) / ◇大阪市喜久屋書店阿倍野店 (2013年11月～) / ◇紀伊國屋書店グランフロント大阪店 (2013年11月～) / ◇大阪市ジュンク堂書店上本町店 (2013年11月～) / ◇神戸市ジュンク堂書店三宮駅前店 (2014年6月～) / ◇出雲市今井書店出雲店 (2014年7月～)

◆毎年秋、私たち歴史書懇話会は、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地の書店さんをお訪ねして1軒1軒お店の棚を拝見したり、会場を借りて書店の皆様にお越し頂き研修会を開催したり、もちろん夜は懇親会でざっくばらんに最近の景気動向や本の売れ行き情報を交換してまいりました。今年も10月2日(木)から4日(土)まで福島・宮城・山形の東北3県、12書店さんをお訪ねしました。幸運にも台風18号のほんの少し先を行ったお蔭で、殆ど傘をささずに済みました。

それでは、特急で旅程を辿りましょう。10月2日午前9時32分郡山着、岩瀬書店富久山店、ジュンク堂書店郡山店の2書店さん訪問。仙台へ移動、ホテルの会議室で午後2時半から5時半まで研修会開催。ご参加頂いたのは、ジュンク堂書店仙台本店・丸善仙台アエル店・東北大学生協文系書籍店・仙台八文字屋書店・紀伊國屋書店仙台店・ヤマト屋書店仙台三越店・宝文堂ブックサービス・ブックスマヤギの8書店さんとトーハン・日販・大阪屋の3販売会社さんでした。夜の懇親会を経て、翌日10月3日は、ジュンク堂書店仙台本店、ジュンク堂書店仙台TR店、丸善仙台アエル店、東北大学生協文系書籍店、仙台八文字屋書店、葛屋書店仙台東店、紀伊國屋書店仙台店、山形へ移動してTENDO八文字屋の8書店さんを訪問。その晩は天童温泉泊。翌最終日の10月4日(土)は、こまつ書店寿町本店、八文字屋本店の2書店さんを訪問。午後2時4分発で帰路に付きまして。お邪魔させて頂いた書店の皆様、研修会にご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

◆研修旅行から戻って間もない10月8日夜11時、ニュース番組「NEWS23」で「小澤征爾さんが初めて語る「戦争と平和」」が放送されました。「今の日本は戦争を知らない人たちがリーダーとなっています。私は満洲で生まれましたが、戦争が始まってから日本に戻り、戦中戦後の事、皆、私自身の眼で見えてきました。戦争を体験した人間ですから、同じ過ちは繰り返すまいと思って生きてきました。「歴史」というものは、それを受け継ぎ、過ちを繰り返さないためにあるものだと、考えています」。

食道癌を克服して、音楽活動を再開している小澤さんは今年8月、「小澤征爾&2014 サイトウ・キネン・フェスティバル松本」でベルリオーズの「幻想交響曲」を指揮しました。その前日は緊張して眠れなくなるというほどに繊細な感性の方がとらえた歴史観を、今、知ることが出来て、音楽家と歴史との繋がりを、深く味わう事が出来ました。

(FN)

歴史書懇話会特設店

ジュンク堂書店	仙台本店	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-4-1 仙台イービーズ 3・5・6・7F ☎022-716-4511
岩瀬書店	富久山店	〒963-8051 郡山市富久山町八山田 字大森新田36-1 ☎024-936-2220
煥乎堂	本店	〒371-0023 前橋市本町1-2-13 ☎027-235-8111
須原屋	本店	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20 ☎048-822-5321
岩波ブックセンター	信山社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 ☎03-3263-6601
東京堂書店	神田神保町店	〒101-0051 千代田区神田神保町1-17 ☎03-3291-5181
芳林堂書店	高田馬場店	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-5 F I ビル ☎03-3208-0241
ジュンク堂書店	池袋本店	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5 ☎03-5956-6111
有隣堂	本店	〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1 ☎045-261-1231
Booksなかだ	本店	〒939-8212 富山市掛尾町180-1 ☎076-492-1192
うつのみや	柿木島本店	〒920-0962 金沢市広坂1-1-30 ☎076-234-8111
平安堂	長野店	〒380-0825 長野市末広町1355-5 ☎026-224-4550
精文館書店	本店	〒440-8517 豊橋市広小路1-6 ☎0532-54-2345
ちくさ正文館	本店	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1 ☎052-741-1137
ジュンク堂書店	京都店	〒600-8005 京都市下京区四条富小路角 ☎075-252-0101
ジュンク堂書店	大阪本店	〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ1～3F ☎06-4799-1090
ジュンク堂書店	千日前店	〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. NAMBAビル ☎06-6635-5330
ジュンク堂書店	三宮店	〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18 ☎078-392-1001

フタバ図書	T E R A 広島府中店	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ ☎082-561-0770
りーぶる	天神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-18 サンビル1F ☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福岡店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2014年10月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

民族浄化のヨーロッパ史

憎しみの連鎖の二〇世紀

ノーマン・M・ナイマーク／山本明代訳解説―百瀬亮司・山本明代「民族浄化」五つの事例を20世紀ヨーロッパ史に辿った問題作！今も断ち切れない負の連鎖。やられた民族が立場変わればやり返す…



「ひとたび理性や意識が崩壊したあとの具体例には言葉がない。……本書が伝える教訓を自らに課す覚悟が必要ではないか」(朝日新聞 10/5 読書欄/紹介)

AS5上製 三八〇頁 ¥四五〇〇

◆ドイツ近現代専門の歴史家が描いた郷土史

讃岐の二豪農の三百年

木谷勤著



木谷家と村・藩・国の歴史

豊富な文書(多度津町文化財)を駆使、世界的視点も交えながら村と藩を語る。江戸初期〜昭和末年、讃岐の国仲多度郡葛原村を本拠に続いた木谷家三百年

四六・二七〇頁 ¥二〇〇〇

歴史を変えた火山噴火

石弘之著「世界史の鏡」環境



自然災害の環境史

大震災や大噴火などの巨大自然災害からは、ひたすら逃げるしか対策はない。このときに唯一役立つのは過去の経験である(本書「まがき」から)。7万年前のトバ噴火から現代まで、火山噴火が歴史に与えた影響を辿る新しい環境史。

四六並製 一八一頁 ¥一六〇〇

11月未予定

聖なるイメージと身体

キリスト教中世における信仰と実践

J・C・シュミット／小池寿子他訳(刀水歴史全書88) 中世キリスト教文明の中心テーマ! 目に見えない「神性」にどのように「身体」が与えられたか? 民衆の心性を見つめて歴史人類学という新しい地平を開拓した著者の、更なる到達点

四六・四〇〇頁 ¥三八〇〇

魔女と魔女狩り

Wペーリンガー著／長谷川直子訳



魔女狩りはキリスト教だけに限らない。魔女の殺害は過去の問題だけではなく「世界人口の大半が今も魔術を信じているだろう」魔女や魔女狩りは人類の歴史の中で未だ完結してはいない

四六・四九〇頁 ¥三五〇〇

十字軍の歴史

Aジヨティシユキ著／森田安訳

日本語で読める初めての十字軍の全体史完成。中世社会を拡大な絵巻として描く

四六・四六八頁 ¥三八〇〇

歴史としての東日本大震災

岩本由輝編(執筆)



東北に暮らす歴史家三人と科学者一人が、体験をもとに大震災を歴史の中に位置づけよう。シミュレーションによる「安全神話」より、地元の伝承・口碑の方が、はるかに人々の身を守ったことを、様々な史料により検証

AS5上製 二四〇頁 ¥二〇〇〇

読書の秋に出会う刀水書房の歴史書

【価格は税抜】 千代田区西神田2-4-1 千101-0065 東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234 http://www.tousuishobou.com

社会運動の人びと

「転換期
パリに生きる」

相良匡俊著 A5判 264頁 本体5500円

革命的サンディカリズムから社会主義労働運動、そして社会運動史へ。19世紀末〜20世紀初頭のフランスを舞台に、歴史を生きた人びとへのアプローチを模索し続けた研究の軌跡。

「日本史リブレット」人ひと

89 児玉源太郎 ― 明治陸軍のリーダーシップ

大澤博明著 A5変型判 本体800円

明治期の陸軍参謀、台湾統治者、日露戦争の指導者として、軍事と政治に力を発揮した児玉。日本の軍事的近代化の中で彼の指導力に着目しその生涯を追う。

蒙古襲来

服部英雄著

四六判 520頁十口絵16頁

蒙古襲来に関わる史料は多数あるが、通説では説明できないところがあった。本書では「蒙古襲来絵詞」を徹底的に読み直し、蒙古襲来像を再検証する。 本体2400円

世界史学とロシア史研究

田中陽児著 A5判 本体7500円

常に日本社会の現状に想いを馳せつつロシアの歴史や文化に注目していた著者。その足跡を、中近世ロシアに関する論文、歴史意識あるいは世界史学についての論考でたどる。

2015年版 山川歴史手帳 本体700円

人喰いの社会史

― カンニバリズムの語りと異文化共存

弘末雅士著 四六判 240頁 本体2600円

どのような状況で人喰いの語りは創られたのか。インフォーマントの役割に着目し、大航海時代から現代まで、スマトラを舞台に異文化接触と共存への道筋を解き明かす。

シリーズ「イスラームを知る」 A5判 各本体1200円

13 イランの宗教教育戦略

― グローバル化と留学生 桜井啓子著

世界中から留学生を集め、国際ネットワークを展開しつつあるイスラーム宗教大学。その出現が、教育にどう影響しているのか。イランの事例を中心に論じる。

16 スーフイー教団

― 民衆イスラームの伝統と再生 高橋圭著

イスラームは厳格な二神教だが、一方では人びとの生活に根ざした多様な信仰も存在する。こうした「民衆のイスラーム」を担ったスーフイーの姿や教団の歴史を探る。

11月中旬刊行

17 イスラーム法の「変容」

― 近代との邂逅 大河原知樹・堀井聡江著

「イスラーム復興」において象徴的に取り上げられるイスラーム法。しかし、歴史的にその内容は二様ではなく、近代には大きな変容を迫られた。本書では、その実態や過程を明らかにする。

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

(表示は税別)

北海道・沖縄、旧植民地、軍隊知識など、かつて日常生活のなかにあった軍隊を、歴史的・社会的に考える体系的シリーズ

地域のなかの軍隊

全9巻 刊行開始

かつての軍都・連隊町や軍港都市を対象にした都市史の進展により、軍隊と地域社会との関係が明らかにされつつある。多様な視角から軍隊の実態を歴史的に解明。日常生活のなかにあった軍隊の存在を、地域からとらえ直す。

5 西の軍隊と軍港都市

中国・四国

坂根喜弘編（第1回配本）10月発売 2800円
各地の軍隊誘致運動や、それに伴う都市形成と諸産業の発達、市民生活との密な関係に迫る。
〈次回配本〉岡島中央の軍事拠点・中部：河西英通編（11月）詳しくは内容案内をご請求下さい。



古事記と太安万侶

和田 萃編 2300円

「古事記」編纂から一三〇〇年の時空を超えて甦る。賢者の偉業と記紀神話。

日本文学史

小峯和明編 3880円
東アジア・メディア・戦争・宗教・ジェンダー・環境などのテーマで論じる、今までなかった通史。

歴史の旅 中世の高野山を歩く

山陰加春夫著 約一三〇〇年に及ぶ崇敬を集める世界遺産・高野山。空海開創以来の信仰と文化を、豊富な図版を交え辿る。2600円

描かれた倭寇

「抗倭図巻」と中国で新発見された「抗倭図巻」を全ページカラーで本邦初公開！ 2500円
史料編纂所編

〈報道写真〉と戦争

白山眞理著 日本は報道写真はいかに生まれ戦争と関わったのか。名取洋之助、木村伊兵衛、土門拳ら報道写真家の実像を読み解く。4800円

読みなおす日本史 好評刊行中

姓氏・家紋・花押 荻野三七彦著 古文書読解の要点が学べる入門書。先祖を調べる上で必読。2400円
安芸毛利一族 河合正治著 西国の覇者となった毛利一族を支えた結末の秘密を浮き彫りにする。2400円

敗者の日本史 各2600円

④ 古代日本の勝者と敗者 荒木敏夫著 歴史の表舞台から去った有力氏族「大伴氏は、本当に姿を消したのか。古代史のなかの勝者と敗者を考える。
⑩ 二・二六事件と青年将校（2刷） 筒井清忠著

歴をあるく 紫式部と平安の都

倉本一宏著 京都に探る「源氏物語」の舞台！ 世界最高の文学作品を生み出した、希代の天才の生涯を辿る。〈シリーズ最新刊〉2000円

歴史文化ライブラリー

386 地方官人たちの古代史 律令国家を支えた人びと 中村順昭著 古代のお役人たちの活躍をいきいきと描く。1700円

387 豊臣秀頼 福田千鶴著 家康が恐れた貴公子。没後四〇〇年、徳川中心史観による虚像を剥ぐ。1700円

388 名前と権力の中世史 室町將軍の朝廷戦略 水野智之著 尊氏から義昭まで、名前をめぐる將軍権力のゆくえ。1700円

389 江戸時代の医師修業 学問・学統・海原 亮著 医師として必要な「学問」をいかに習得したか。1800円

吉川弘文館

（価格は税別） 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2 / 電03-3813-9151



歴史手帳 2015年版 900円

60年ぶり全面リニューアル。記念プレゼント実施！

歴史書懇話会

会員社名簿

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5〈担当者・深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3〈担当者・石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4〈休会〉
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355〈担当者・井熊勇介〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17〈担当者・鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1〈担当者・中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8〈担当者・榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16〈担当者・関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入〈担当者・西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620〈担当者・杉田信啓〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13〈担当者・大壽賀翔〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8〈担当者・春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2014年11月1日発行・第216号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店